

# 静岡銀行、 シェア 35.48%でトップ

上位 5 金融機関の顔ぶれに変化なし

## 静岡県・「メインバンク」動向調査(2025 年)



本件照会先

竹岸 隆浩(調査担当)  
帝国データバンク  
静岡支店  
TEL:054-254-8301  
info.shizuoka@mail.tdb.co.

発表日

2026/01/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2025 年静岡県内のメインバンク調査では「静岡銀行」が 15,525 社(シェア 35.48%)でトップを維持した。2 位は、「浜松磐田信金」(4,622 社、シェア 10.56%)が続いた。業種別でも、主要 7 業種の全てで「静岡銀行」がトップ、2 位も「浜松磐田信金」で続き、静岡県内では、引き続き政令区に本店を置く両行の存在感が際立つ結果となった。

株式会社帝国データバンクでは、2025 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」(約 150 万社収録、特殊法人・個人事業主含む)をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

[注] 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

## シェアトップは「静岡銀行」の 35.48%

静岡県内企業がメインバンクとして認識している金融機関のシェアトップは「静岡銀行」で、企業数は15,525 社でシェア 35.48%を占めた。2 位は「浜松磐田信金」の 4,622 社で 10.56%、3 位は「しずおか焼津信金」の 3,338 社で 7.63%、4 位は「清水銀行」の 2,972 社で 6.79%、5 位は「三島信金」の 2,507 社で 5.73%となった。

上位では、前年 7 位だった「静清信金」が 6 位に、同 6 位だった「島田掛川信金」が 7 位となり、トップ 10 に変動がみられた。

なお、1 位の「静岡銀行」と 2 位の「浜松磐田信金」との差は 24.92pt で前年の 25.47pt から 0.55pt 縮まった。

メインバンクシェア上位 20 の金融機関

2025年				2024年		
順位	取引銀行名	社数	シェア	順位	社数	シェア
1	静岡	15,525	35.48%	1	15,621	36.20%
2	浜松磐田信金	4,622	10.56%	2	4,631	10.73%
3	しずおか焼津信金	3,338	7.63%	3	3,297	7.64%
4	清水	2,972	6.79%	4	2,996	6.94%
5	三島信金	2,507	5.73%	5	2,530	5.86%
6	静清信金	1,906	4.36%	7	1,898	4.40%
7	島田掛川信金	1,881	4.30%	6	1,908	4.42%
8	スルガ	1,827	4.18%	8	1,887	4.37%
9	沼津信金	1,093	2.50%	9	1,106	2.56%
10	富士信金	846	1.93%	10	854	1.98%
11	遠州信金	821	1.88%	11	825	1.91%
12	富士宮信金	803	1.84%	12	805	1.87%
13	静岡中央	656	1.50%	13	669	1.55%
14	三菱UFJ	522	1.19%	14	527	1.22%
15	みずほ	314	0.72%	15	314	0.73%
16	三井住友	252	0.58%	16	247	0.57%
17	富士伊豆農協	241	0.55%	17	245	0.57%
18	商工中金	199	0.45%	18	205	0.48%
19	りそな	99	0.23%	19	95	0.22%
20	大井川農協	75	0.17%	20	75	0.17%

# 業種別：主要 7 業種全てで「静岡銀行」がトップ

静岡県内企業がメインバンクとして認識している金融機関を主要 7 業種別にみると、1 位は 7 業種全てで「静岡銀行」が占め、いずれの業種も 2 位以下に大差をつけた。2 位についても主要 7 業種全てが「浜松磐田信金」となり、政令区に本店を置く両行が高いシェアを占めた。なお、『運輸・通信』は「清水銀行」が同率で 2 位となった。

3 位については、『建設』『製造』『卸売』『小売』『サービス』『不動産』の 6 業種が「しずおか焼津信金」となった。

## 業種別メインバンクシェア上位 10 の金融機関

建設業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	4,548	35.48%	1	4,583
2	浜松磐田信金	1,327	10.35%	2	1,343
3	しずおか焼津信金	1,169	9.12%	3	1,167
4	三島信金	915	7.14%	4	917
5	清水	897	7.00%	5	911
6	島田掛川信金	661	5.16%	6	675
7	静清信金	637	4.97%	8	627
8	スルガ	628	4.90%	7	638
9	沼津信金	372	2.90%	9	365
10	富士信金	324	2.53%	10	335

運輸・通信業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	523	39.62%	1	524
2	浜松磐田信金	121	9.17%	3	122
2	清水	121	9.17%	2	124
4	しずおか焼津信金	93	7.05%	4	87
5	三島信金	67	5.08%	5	69
6	スルガ	54	4.09%	6	52
7	島田掛川信金	52	3.94%	7	50
8	静清信金	45	3.41%	8	46
9	富士信金	42	3.18%	9	41
10	沼津信金	39	2.95%	10	38

製造業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	2,386	36.36%	1	2,416
2	浜松磐田信金	903	13.76%	2	902
3	しずおか焼津信金	486	7.41%	3	486
4	清水	473	7.21%	4	479
5	静清信金	333	5.07%	5	337
6	三島信金	311	4.74%	6	316
7	島田掛川信金	306	4.66%	7	307
8	スルガ	192	2.93%	8	206
9	遠州信金	161	2.45%	9	161
10	三菱UFJ	133	2.03%	10	135

サービス業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	3,408	32.90%	1	3,379
2	浜松磐田信金	959	9.26%	2	950
3	しずおか焼津信金	620	5.98%	4	602
4	清水	609	5.88%	3	605
5	三島信金	474	4.58%	5	471
6	スルガ	398	3.84%	6	414
7	静清信金	352	3.40%	7	347
8	島田掛川信金	332	3.20%	8	327
9	沼津信金	211	2.04%	9	217
10	遠州信金	154	1.49%	11	145

卸売業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	1,840	42.14%	1	1,862
2	浜松磐田信金	464	10.63%	2	472
3	しずおか焼津信金	306	7.01%	3	309
4	清水	288	6.60%	4	301
5	三島信金	195	4.47%	5	201
6	静清信金	194	4.44%	6	198
7	スルガ	190	4.35%	6	198
8	島田掛川信金	146	3.34%	8	156
9	三菱UFJ	111	2.54%	9	115
10	沼津信金	93	2.13%	10	94

不動産業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	826	35.45%	1	810
2	浜松磐田信金	241	10.34%	2	229
3	しずおか焼津信金	178	7.64%	3	167
4	清水	173	7.42%	4	158
5	三島信金	149	6.39%	5	147
6	スルガ	113	4.85%	7	112
7	静清信金	94	4.03%	8	90
8	島田掛川信金	72	3.09%	9	75
9	沼津信金	67	2.88%	10	69
10	静岡中央	46	1.97%	11	45

小売業					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	1,712	33.66%	1	1,762
2	浜松磐田信金	532	10.46%	2	546
3	しずおか焼津信金	440	8.65%	3	436
4	三島信金	367	7.22%	4	379
5	清水	356	7.00%	5	365
6	島田掛川信金	269	5.29%	6	279
7	静清信金	238	4.68%	8	236
8	スルガ	227	4.46%	7	242
9	沼津信金	167	3.28%	9	173
10	遠州信金	121	2.38%	10	125

その他					
2025年			2024年		
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	282	30.85%	1	285
2	浜松磐田信金	75	8.21%	2	67
3	清水	55	6.02%	4	53
4	しずおか焼津信金	46	5.03%	5	43
5	島田掛川信金	43	4.70%	6	39
6	三島信金	29	3.17%	7	30
7	とびあ浜松農協	25	2.74%	8	26
7	富士伊豆農協	25	2.74%	11	23
7	富士宮信金	25	2.74%	9	25
7	スルガ	25	2.74%	9	25

# 売上規模別：6 分類全てで「静岡銀行」がトップ

静岡県内企業がメインバンクとして認識している金融機関を取引先の売上規模別（6 分類）にみると、「静岡銀行」が『5000 万円未満』『5000 万円～1 億円未満』『1～5 億円未満』『5～10 億円未満』『10～50 億円未満』『50 億円以上』の 6 分類全てでトップとなった。

2 位は『5000 万円未満』『5000 万円～1 億円未満』『1～5 億円未満』『5～10 億円未満』『10～50 億円未満』の 5 分類が「浜松磐田信金」、『50 億円以上』は「三菱UFJ銀行」となった。

なお、売上規模の大きい『50 億円以上』では、トップの「静岡銀行」以外は、「三菱UFJ銀行」が 2 位、「みずほ銀行」が 3 位、「三井住友銀行」が 4 位となるなどメガバンクが上位を占めた。

## 売上規模別 メインバンクシェア上位 10 の金融機関

売上高5000万円未満						売上高5～10億円未満					
2025年				2024年		2025年				2024年	
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数	順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	5,418	32.31%	1	5,594	1	静岡	1,121	42.92%	1	1,072
2	浜松磐田信金	1,719	10.25%	2	1,733	2	浜松磐田信金	289	11.06%	2	280
3	しずおか焼津信金	1,357	8.09%	3	1,364	3	清水	201	7.70%	3	211
4	三島信金	1,166	6.95%	4	1,209	4	しずおか焼津信金	188	7.20%	4	179
5	清水	1,098	6.55%	5	1,130	5	島田掛川信金	102	3.91%	5	106
6	スルガ	874	5.21%	6	921	6	三島信金	100	3.83%	6	98
7	静岡信金	795	4.74%	7	801	7	静岡信金	75	2.87%	7	79
8	島田掛川信金	736	4.39%	8	768	8	スルガ	74	2.83%	8	74
9	沼津信金	460	2.74%	10	476	9	沼津信金	54	2.07%	9	53
10	富士宮信金	351	2.09%	11	355	10	遠州信金	52	1.99%	10	49

売上高5000万円～1億円未満						売上高10～50億円					
2025年				2024年		2025年				2024年	
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数	順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	2,552	33.02%	1	2,592	1	静岡	1,204	50.31%	1	1,188
2	浜松磐田信金	811	10.49%	2	818	2	浜松磐田信金	215	8.98%	2	214
3	しずおか焼津信金	672	8.69%	3	639	3	清水	164	6.85%	3	161
4	清水	526	6.81%	4	542	4	しずおか焼津信金	118	4.93%	4	111
5	三島信金	484	6.26%	5	482	5	三菱UFJ	98	4.10%	5	96
6	島田掛川信金	400	5.18%	6	405	6	スルガ	75	3.13%	6	72
7	静岡信金	382	4.94%	7	379	7	静岡信金	59	2.47%	11	51
8	スルガ	340	4.40%	8	339	8	商工中金	55	2.30%	9	53
9	沼津信金	223	2.89%	10	225	9	三島信金	54	2.26%	7	57
10	遠州信金	189	2.45%	11	184	10	みずほ	51	2.13%	9	53

売上高1～5億円未満						売上高50億円以上					
2025年				2024年		2025年				2024年	
順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数	順位	金融機関	社数	シェア	順位	社数
1	静岡	4,777	36.42%	1	4,726	1	静岡	365	47.04%	1	364
2	浜松磐田信金	1,539	11.73%	2	1,519	2	三菱UFJ	81	10.44%	2	79
3	しずおか焼津信金	971	7.40%	3	976	3	みずほ	63	8.12%	3	62
4	清水	937	7.14%	4	908	4	三井住友	41	5.28%	5	39
5	三島信金	697	5.31%	5	678	5	清水	36	4.64%	6	31
6	静岡信金	579	4.41%	6	571	6	浜松磐田信金	28	3.61%	7	30
7	島田掛川信金	576	4.39%	7	567	7	商工中金	18	2.32%	8	21
8	スルガ	448	3.42%	9	467	8	りそな	13	1.68%	9	13
9	沼津信金	324	2.47%	10	325	9	しずおか焼津信金	11	1.42%	10	11
10	富士信金	314	2.39%	11	307	10	静岡県信連	10	1.29%	11	10

## メインバンクの選考条件は「低金利」以外に拡大 地域金融機関で問われる「顧客理解力」

---

日本銀行が2024年3月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化しており、地域金融機関は「金利のある世界」に適応しつつあり、コロナ前まで続いた超低金利での貸出によるシェア拡大競争からの決別が進んでいる。

こうしたなか、安価な決済口座の維持コストや、迅速な融資決定力を武器にシェア拡大を続けているネット銀行など新興勢力のシェアが近年急拡大している。特に創業直後のスタートアップ、事業を承継した若手代表者が経営する企業などでは、取引銀行の選好条件として金利条件よりも対応の質やスピードを重視する傾向も強まっている。こうした金融機関との関係性の変化は、現状では企業が集積する都市部に限定されてはいるものの、今後は地方でも広がる可能性がある。預貸で稼ぐ銀行の本業を維持するために経営地盤で一定の影響力を保つ必要がある、地方部の金融機関にとっては脅威となり得る競争相手に変化することも想定されよう。

足元では、再生支援を担う部署や新会社の設立などで事業再生ビジネスに本格的に参入する金融機関も相次ぐ。また、2026年には「企業価値担保権」を設定した融資もスタートし、地域金融機関が長年取り組んできた、知的資産や技術力などを測る事業性評価の総合力が試される局面に突入する。他方、店舗の統廃合による経営コストの削減から、コンサルティングなど特定の機能に特化した店舗開設を進め、営業拠点を再度復活させる動きも出ている。

技術やビジネスモデルに対する目利き力、販路拡大、人材育成など、地域の中小企業が抱える課題にきめ細かく対応できる「良きパートナー」としての存在感を、メインバンクとして支援する店舗型金融機関がどう誇示できるかが注目される。